



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪  
ニュースレターVol. 52（2024年6月発行）

## 福島から示された「被造物ケア」の希望

2011年の東日本大震災による原発事故以来、福島訪問を共にしてきたチームがバンクーバーから5年ぶりに訪日しました。私の長年の友人のパク・スファン氏は現在、被造物ケアの国際キリスト教団体「ア・ロシヤ」の代表理事を務めています。このたび「ア・ロシヤ」に関わりのあるブックレス氏の「被造物ケアの福音」（いのちのことば社）が翻訳・出版されたことを記念するセミナーが東京で開かれ、スファン氏が「ア・ロシヤ」を代表して挨拶をしました。彼女がキリスト者として「被造物ケア」の働きの重要性を痛感し、関わるように主に導かれたのはFVIの福島での支援活動に同行する経験を通してでした。震災後、「声なき者の友」として国際協力の輪の中で続けてきた私たちの福島訪問が、13年を経て「被造物ケアの福音」という象徴的な一冊の本へとつながったように感じました。

原発事故を伝える「双葉伝承資料館」を訪問し、南相馬を経て飯舘村に入ったとき、放射能で汚染された表土を剥ぎ取った黒のフレコンバックが累々と並べられていた2015年の風景と衝撃が頭に浮かんできました。現在同じ場所には、耕作が始まった田畑と手を加えられないままひっそりとする地の風景が広がっています。その光景はまるで今までと同じように進み続けるのか、方向転換するのかを戸惑っているようで、理解を超えた複雑な事態を経験した社会で暮らす私たちが抱える心象風景を表しているようでした。



2015年の飯舘村



2024年現在の飯舘村

福島訪問の後、チームには私が4月から加わった埼玉県で聖書に基づく「被造物ケア」の農業を実践するT夫妻と共に私たちが耕している畑を見てもらいました。T夫妻は7年前にバンクーバーを訪れア・ロシヤの被造物ケアの活動を見学していたのです。チームの一人が畑を見ながらつぶやきました。「絶望と思える状況でいのちを育む働きを静かに信じて一步を踏み出すと、微かな光のように希望が見えてくるのかもしれないね」。福島との関わりを通して、すべてのいのちを育む貴い神の働きに参加する大切さを示されてきたのだと思われました。

（カタリスト 柳沢）



埼玉県「被造物ケア」の農業実践

## 書評『被造物ケアの福音』 デイブ・ブックレス（著）／石原謙治・石原香織（訳）

私（陣内）は幼少期から動物や昆虫に魅了される子どもでした。大学進学時に「獣医師」という道を選んだのも、動物や自然界への愛と関心とその背景にありました。大学1年のときに洗礼を受けた教会で先輩のクリスチャンから「陣内君は獣医師を目指して頑張っているけど、牛に福音を語っても意味がないから、人間を救う伝道の働きの方が良いんじゃないの」という意味のことを冗談交じりに言われました。そのときは笑ってごまかしましたが、その言葉は違和感とともにずっと記憶に焼き付いていました。

あれから27年が経ち、聖書的な「被造物ケア」について学び続け、FVIの活動を通して福島／ウクライナ／アフリカの被造物の痛みとその回復のための働きを見ながら、「福音はただ人間のためだけにある」という当時の考えは変えられていきました。本書でブックレス氏書いているように、「聖書全体は神と人間と被造物の三者についての物語」であり、被造物は決して「神と人間」という主人公の単なる背景ではありません。27年越しに私は「牛に宣教することが聖書的である」、という答えを本書から得ました。ブックレス氏はマルコによる福音書16章の「全世界に出て行き、すべての造られた者（英語では all creation=すべての被造物）に福音を宣べ伝えなさい」というみことばを紹介します。牛（被造物）に福音を伝えることは聖書的だったのです！では、どうやって牛に福音を宣べ伝えるのでしょうか。ブックレス氏はこう書いています。「神が愛を込めて造られたにもかかわらず、絶滅の危機に追いやられている生き物にとって、良い知らせとは何でしょうか？ 汚染を引き起こす人間のライフスタイルによって軌道を外れてしまった世界の気候システムにとって、良い知らせとは何でしょうか？（225頁）」被造物に対する良い知らせとは、イエスの十字架と復活の福音だとブックレス氏は論じます。神に召された者たちが神の御心とひとつにされ、被造物を神の意図に沿ってケアするようになることは、人類だけでなく被造物全体にとって「良い知らせ=福音」なのです。

本書は「なぜキリスト者は被造物をケアするのか」という聖書的理由（Why）と、「足元からどのように行動すれば良いか」という実例（How）を分かりやすく教えてくれます。FVIは「声なき者の友」となることがキリストの友になることに他ならない、という確信から発足した働きです。皆様が「うめく被造物」という「声なきもの」の友となっていく上で、本書は最良のガイドブックとなるはずで

（カタリスト 陣内）

### その他の活動（2024年3～5月）

日本 YLG 大会、バンクーバー・チームとの福島協働訪問、豊かな命キリスト教会・安曇野ファミリーチャペル合同礼拝（長野）、日野原記念上尾栄光教会、北上尾福音自由教会（以上埼玉）、聖望キリスト教会（千葉）、幡ヶ谷バプテスト教会、東京武蔵野福音自由教会・MCC 英語部、聖契神学校・卒業式、EFC 関東東南地区牧師会（以上東京）、万座温泉ホテル日進館（群馬）、K 家落成式（鹿児島）などで FVI カタリストが奉仕させていただきました（順不同）。

### 働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京UFJ銀行の口座もご利用いただけます。お問い合わせください。

\*このレターは、希望された方に郵送させていただいています。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。

\*国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

●「声なき者の友」の輪 事務局 email:info@karashi.net 090-3036-2776（神田）

